令和4年
台風15号災害について

（葵区 水見色地区）

（葵区 油山地区）

台風15号の概要

・静岡市では、9 月23 日夜のはじめ頃から24 日明け方にかけて、台風第15 号の影響により、記録的な大雨となった。

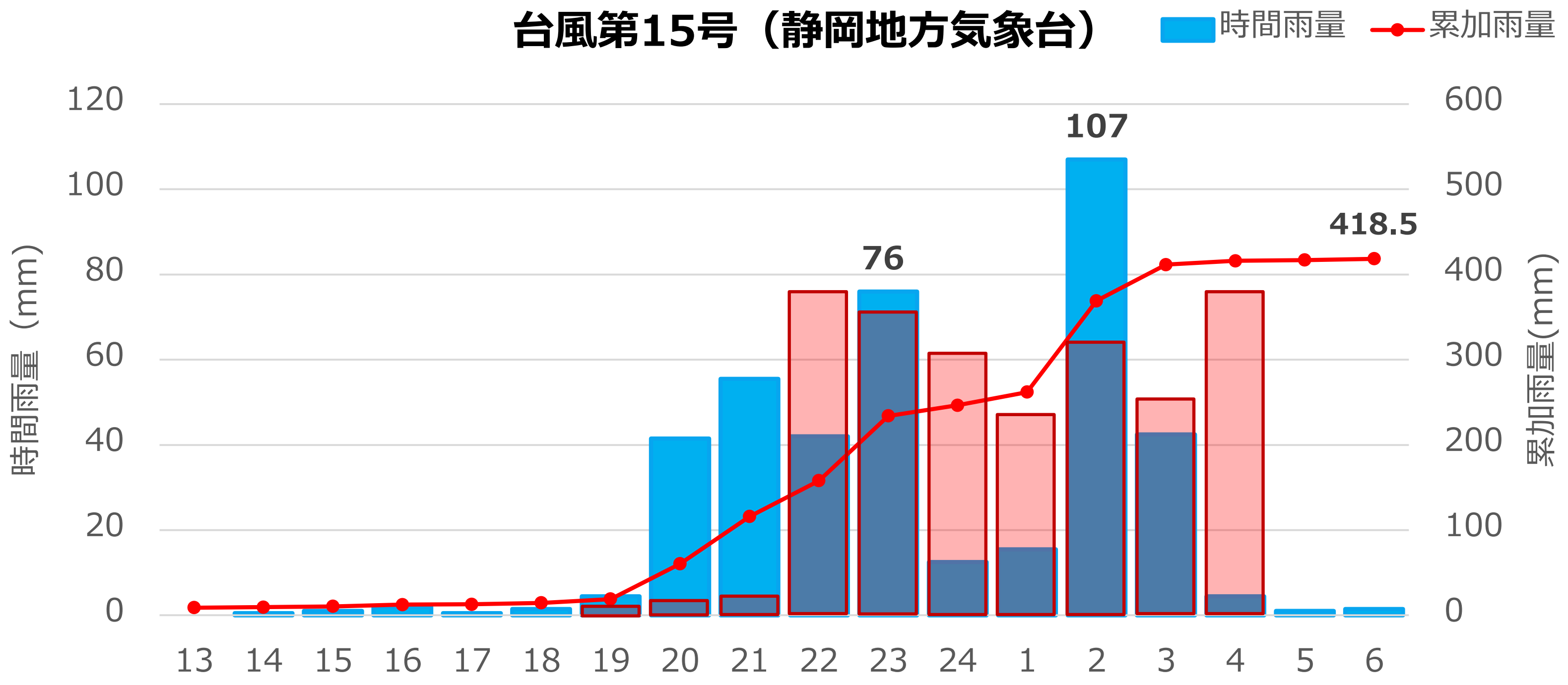
・静岡地方気象台（駿河区曲金）で総雨量419.5ミリを記録

日最大 1時間降水量	107.0mm（統計開始2位）
日最大12時間降水量	404.5mm（統計開始2位）
日最大24時間降水量	416.5mm（統計開始2位）

※統計期間は1940年1月～

・市内複数の観測点において、1、3、6、12、24、48時間降水量で観測史上1位の値を更新

降雨の状況



気象・水位情報

19:00 大雨警報（レベル3相当）
19:52 土砂災害警戒情報（レベル4相当）
20:20 洪水警報（レベル3相当）
22:48 巴川・足久保川氾濫危険水位（レベル4相当）
22:58 長尾川氾濫危険水位（レベル4相当）
23:57 興津川氾濫危険水位（レベル4相当）
01:52 安倍川氾濫危険水位（レベル4相当）

避難情報

20:15 避難指示（土砂）
23:40 巴川・長尾川・足久保川避難指示
01:05 興津川避難指示
01:50 安倍川・藁科川避難指示

被害の状況（最終報告より）

1　人的被害 … 重傷者13人（1ヶ月以上の治療を要する）

2　物的被害

床上浸水：3,221棟（葵区 531、駿河区 198、清水区 2,581）
床下浸水：1,597棟（葵区 450、駿河区 92、清水区 1,075）

3　被災家屋（罹災証明交付家屋）

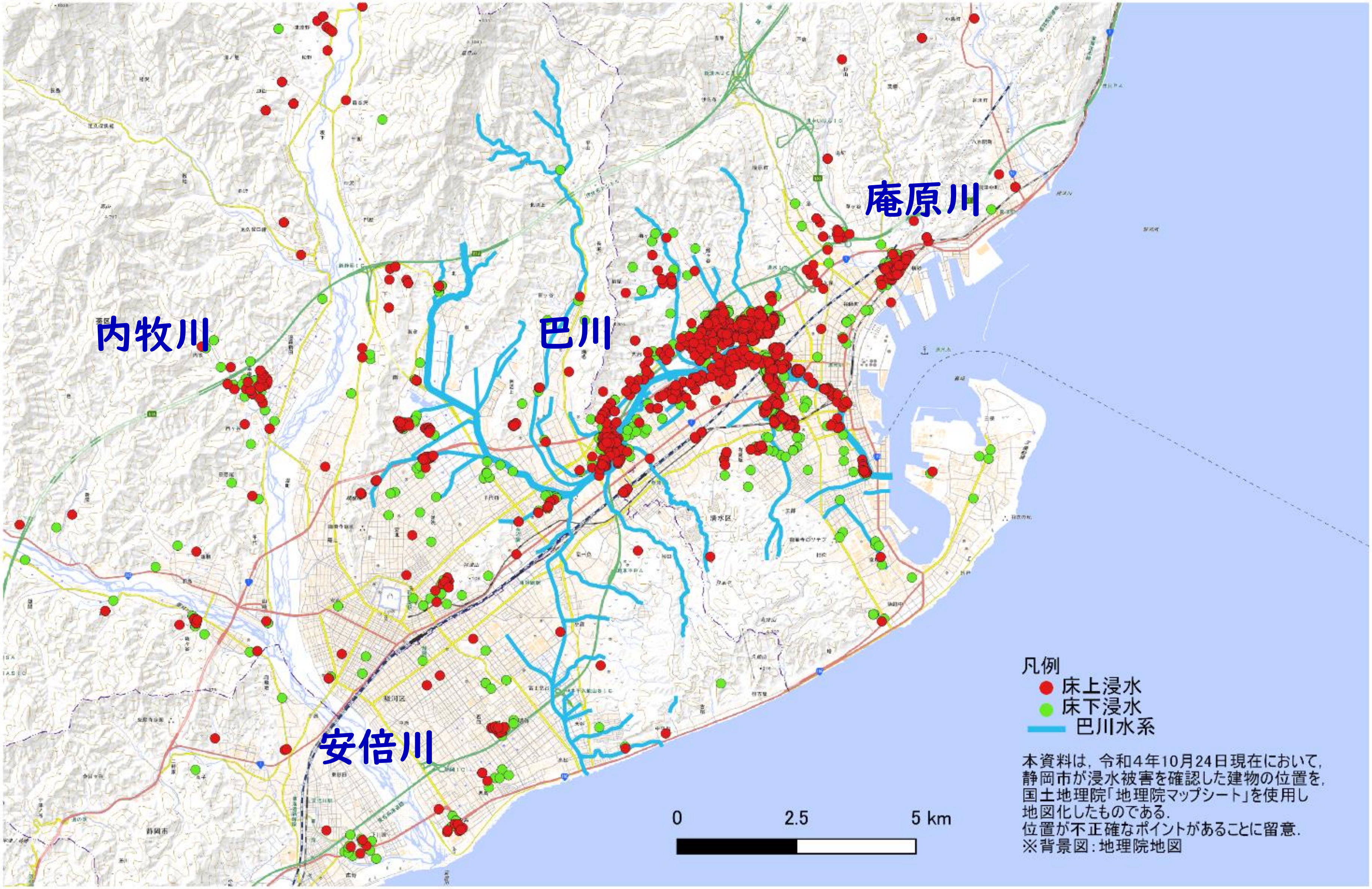
全　壊　：3棟（清水区 3）
半　壊　：2,194棟（葵区 357、駿河区 45、清水区 1,792）
一部損壊：2,682棟（葵区 649、駿河区 166、清水区 1,880）

4　停　電　　約11万7,000世帯（最大：24日07時）

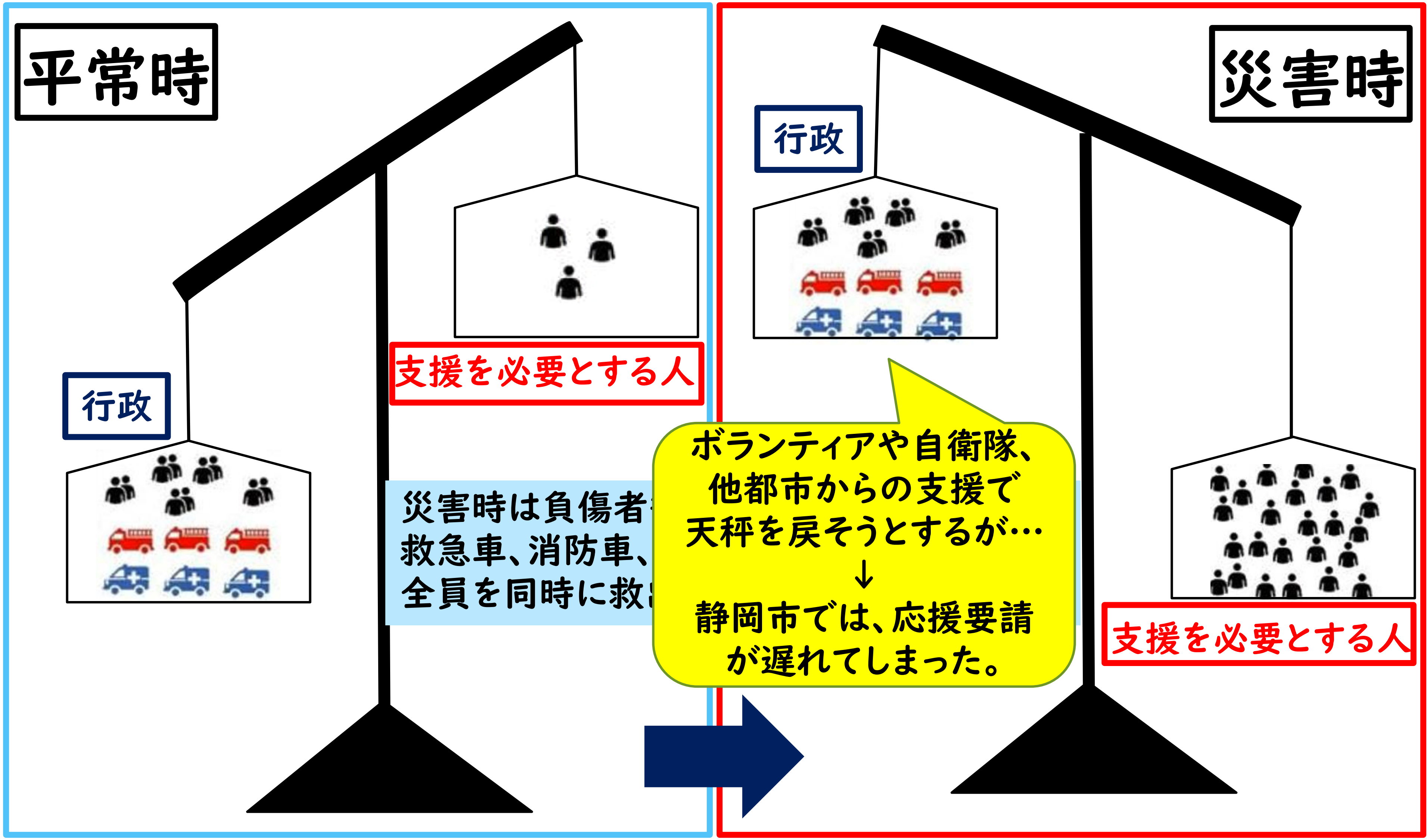
5　断　水　　約6万3,000世帯（最大：9月24日～10月6日）

6　孤　立　　58地区 1,415世帯（最大）

令和４年台風第15号における浸水被害の状況（令和４年10月24日）



公助の限界

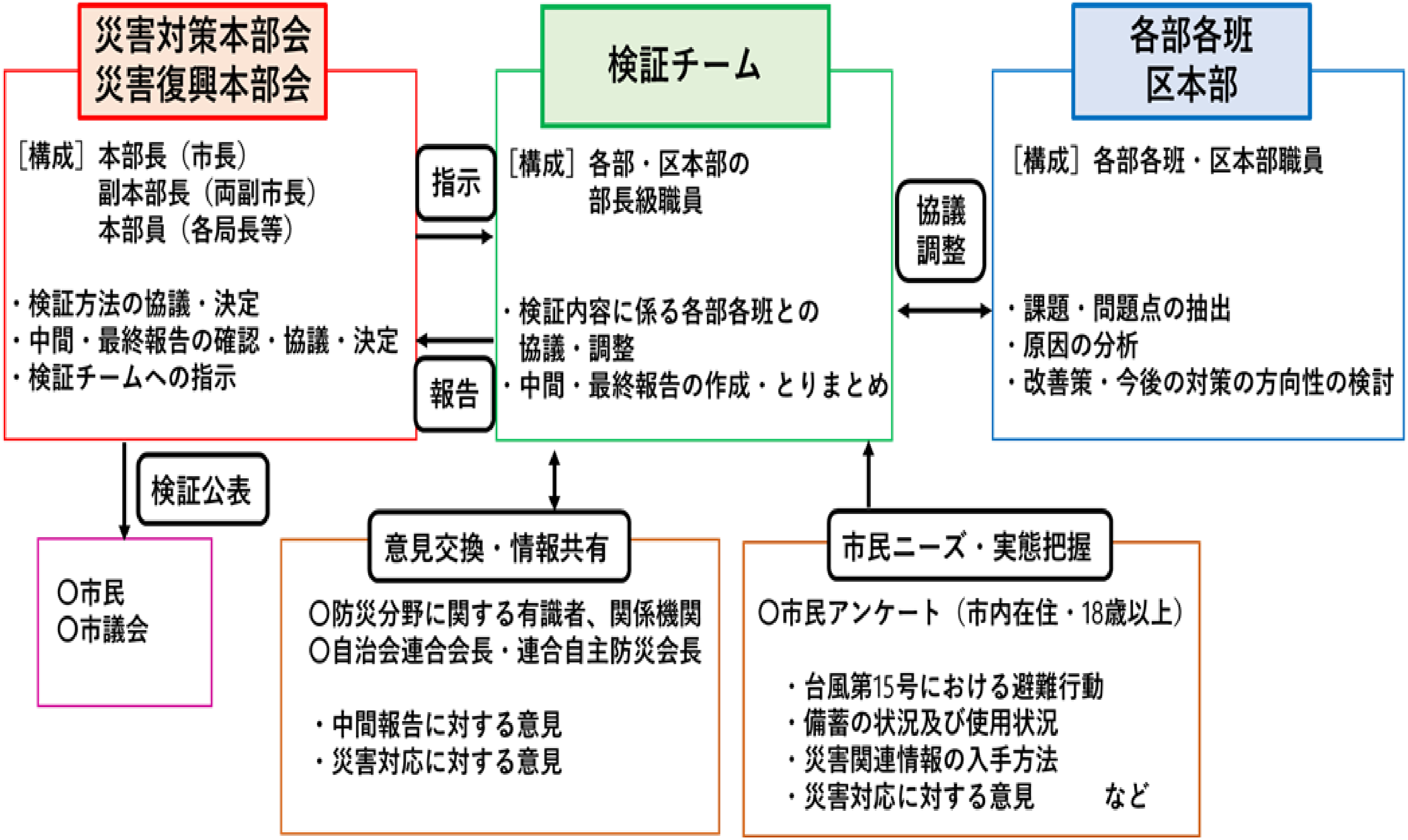

平常時
行政
支援を必要とする人
災害時は負傷者
救急車、消防車、
全員を同時に救
ボランティアや自衛隊、
他都市からの支援で
天秤を戻そうとするが…
↓
静岡市では、応援要請
が遅れてしまった。
災害時
行政
支援を必要とする人

台風15号の市役所の対応について

・初動時の被害想定のミス
・市職員の災害慣れのなさ

令和5年3月に
【台風第15号に係る災害対応検証　最終報告】
を公表しました。

【台風第15号に係る災害対応検証　最終報告】
～検証体制～



【台風第15号に係る災害対応検証　最終報告】
～検証項目～

１　災害対策本部及び本部会のあり方	７　断水
２　応援体制 （庁内、国・県・他都市、自衛隊など）	８　洪水・浸水害
３　被害状況の調査・報告	９　土砂災害
４　情報の収集・共有・発信	１０　被災者支援
５　自治会などとの連携	１１　その他
６　災害廃棄物	

【台風第15号に係る災害対応検証　最終報告】
～検証項目4　情報の収集・共有・発信～

課題・問題点

(1)情報の優先順位等の具体的なルールが定まっていなかった

(2)大量かつあいまいな内容の情報整理に追われた

➡災害対策本部会等において、必要な情報を共有・活用できず

➡市民ニーズの把握が遅れ、災害情報を十分に発信できず

今後の対策（どのように対策するか・どのように変わるか）

(1) 静岡市災害情報共有システムの具体的な運用ルールを策定

(2) 市民向けに災害情報を一元的に発信する

「災害時総合情報サイト」の早期構築

(3) 避難場所に大型モニター・蓄電池を配備し、情報発信体制を強化

【台風第15号に係る災害対応検証　最終報告】
～検証項目５　自治会との連携～

課題・問題点

（1）地区支部員を避難場所の閉鎖と同時に解散したことで、
その後の被害情報の収集や情報発信が十分に行えなかった
➡各部各班が個別に自治会長等に連絡をしてしまったことにより、
会長に多大な負担をかけてしまった

今後の対策（どのように対策するか・どのように変わるか）

（1）地区支部の役割、自主防災組織との役割分担を明確化し、
地域防災計画に規定

（2）情報収集・発信を一元化するとともに、
自治会及び自主防災組織に対する依頼内容と方法を再検討